

OSP (B)の地元課題解決型授業への転換を図る取り組み

～課題としてのインバウンドチャーター誘致に関する取り組み～

OSP local PBL convert to promote commitment to teaching
Efforts on inbound charter attract as challenges

楊政樺、田村健児、周傳久、李岳道、紙矢健治

キーワード：OSP (B)、課題解決型授業 (PBL)、インバウンド、チャーター誘致

はじめに

本研究・協働（以下、本協働と略す）は、2007年度に徳山大学（以下、本学と略す）と西京銀行（以下、同行と略す）が締結した連携協定に基づいて協働の一環として実施されたものである¹。この連携協定は包括的なものである²。両者が周南市に立地する大学と金融機関の強固なパートナーとして、それぞれが持つルートやアイデアを出しあい、互いに「多忙化せず、負担化せず」の原則をまもり、「餅は餅屋」という役割に徹し、すでに8年目の息の長い連携となった³。本協働の目的は、徳山大学の授業「OSP (B)」の内容を課題解決型授業（PBL）への転換を図ること、同時に同行顧客の付加価値を高め、地域創生に貢献することである。また補助金などを前提とせず、パートナーとしてこの協働を行い、相互互惠の協働を持続的発展可能なものとする。本協働を通じ、本学は同行を通じ地域の課題解決を把握し、教員と学生、同行担当者が協働でその解決を行う試みを行うことができた。

なお本研究ノートは本協働実施の最終報告であり、実施報告の一つである。

-
- 1 徳山大学経済学会平成26年度「教育貢献型研究」助成事業として実施した。
 - 2 本協定は「連携と協力に関する協定書」により2007年度に締結されたものである。
<http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/evaluation/hyouka-kizyun10.pdf>
 - 3 地域ブランド化で成功をおさめている近隣学校の連携の基本的姿勢（2014年12月山口県立防府商工高等学校校長の河本太先生、黒川康生先生のインタビューによる）徳山大学岡野啓介学長と筆者5（紙矢）が訪問した時に取材した。

文中で紹介したOSP (B) 資料の田村健児 (2014年8/9)「西京銀行の挑戦! ~地域密着型金融の取り組み~」については、大変参考価値の高いものなのでこのテーマに関する論著を別の機会に執筆したいと思っている。

I. テーマの設定について

2014年度開始時にOSP (B) の課題として、まずどのような「地域」の課題解決をテーマとするかを筆者5 (紙矢健治) が筆者2 (田村健児) と協議し、あらかじめいくつかのテーマをたてた。そのうえで筆者1 (楊政樺) と協議し、実際にトップセールスとして実現可能な項目をあらいだした。そしてそのテーマを「課題としてのインバウンドチャーター誘致に関する取り組み」とし、人的交流や地域の物産の販路拡大を図る試みとしてまとめた。

当初は、県産品の販売ルートを拡大することを目指したが、全体としては山口県と台湾の交流を活発化させるには、チャーター便を誘致するのが良いという認識となり、それを軸として、地域創生を図りながら、山口県と台湾の相互の利益を見出すにはどのような方法があるのかを参加学生に考えさせることとした。2011年度から本学と交流を続けているPTS台湾公共テレビ記者である筆者3 (周傳久) には、シルバー世代を中心とした相互交流 (ロングステイ) についての日本・台湾の交流に関する提案も受けており、同局南部多機能メディアスタジオではゼミも行ってきた⁴。バイヤーの発掘全体は、高雄市青年創業協会理事の筆者4 (李岳道) が担当した。なお筆者3 (周) からは、シルバー世代の相互交流の他、障害者の観光機会を創造するハンディキャップツーリズムもテーマの一つとして提起されたが、この取り組みは、2015年度実施のOSP (B) において実施し、本論叢81号で紙幅をいただけるので、ぜひその回に紹介したい。

II. 本研究協働参画者について

筆者1 (楊) は、航空業界出身の実務家教育であり、国立交通大学管理学

4 2011年度、2012年度、2013年度および2014年度の4回実施した。

博士である。現在は国立高雄餐旅大学観光学院運輸暨休閒服務規劃學位學程（大学院）主任であった。台湾の航空会社に太いパイプを持つ。本協働・本授業の担当者の筆者5（紙矢）とは古い同僚であった。筆者2（田村）は、株式会社西京銀行地域連携部主任調査役である⁵。本研究を金融機関として顧客の付加価値を高めるといふ公益性の高い事業と結びつけ、本研究立案から実施まで本協働の中心的な役割を果たした。筆者3（周）は、PTS台湾公共電視記者（以下、台湾公共放送と称する）である⁶。台湾公共放送は、同局を中核としてTBS台湾公共広電集団を形成する。その傘下には老舗のCTS中華電視公司や教育チャンネル、客家電視、原住民電視（先住民チャンネル）、ワールドテレビ放送「宏觀電視」の6チャンネルを放送している。日本のNHKと同じ公共放送であるが、ちがう点は受信料を徴収していないこと、ラジオ放送はなく、テレビ専業であるところである。また、著者3（周）は、国立高雄師範大学教育学博士であり、特に台湾では北欧を中心とする高福祉国家での取材を重ね、制作者としては評価が高い。「曾虛白先生新聞獎—公共服務報導獎」をはじめいくつもの受賞をしている。2013年度には、西京銀行地域連携部アジアデスクの山中文彦調査役のアレンジで、周南市や防府市、柳井市、美祢市の福祉施設を取材し、5本の番組を制作し放送している⁷。国立高雄師範大学でも教鞭をとっており、本学との連携は2011年度から始まり現在まで続いている⁸。筆者4（李）は、高雄市青年創業協会理事であり、今回は高雄市の企業家とのつながりをアテンドした。筆者5（紙矢）は、本授業担当で本研究の申請者である。

5 現在は、西京銀行小倉支店長である。

6 PTS台湾公共電視

7 「全球現場・漫遊天下」PTS台湾公共電視「ワールドニューストゥナイト」（13CH：放送時間日曜日午後7時30分-7時59分）2013年12月1日、8日、15日、22日、29日放送分で紹介。PNN公視新聞議題中心ホームページで動画をご覧いただけるので参照されたい。<http://pnn.pts.org.tw/main/>

8 2011-2012年度、PTS台湾公共電視の番組「独立特派員」合計5本の番組を放送。

(表1) 本協働参画者(著者リスト)

No.	氏名	所属	役割
筆者1	楊政樺	国立高雄餐旅大学	協働・実施アテンド
筆者2	田村健児	株式会社西京銀行地域連携部主任調査役	協働・実施アテンド
筆者3	周伝久	PTS台湾公共電視記者 (教育学博士)	協働・実施アテンド
筆者4	李岳道	高雄市青年創業協会理事	協働・実施アテンド
筆者5	紙矢健治	徳山大学経済学部教授	授業担当者

なお本協働の実施報告は、本論叢79号に実施報告が掲載されているので参照されたい。愛国関係企業や高雄青年創業協会会員企業の皆様のご厚意で長時間のトップセールス研修を実施できた⁹。

Ⅲ. 事前授業について

筆者2(田村)により2014年8月4日に徳山大学で、8月12日に西京銀行本店で4時限実施された。75ページにおよぶ事前授業用資料が用意され、「地域密着型金融」の役割について、合計4時限の授業となった(写真1、2参照)。事前授業用資料については写真3を参照されたい¹⁰。



(写真1) 筆者2(田村)による事前授業
(2014年8月4日徳山大学)



(写真2) 同授業(2014年8月12日西京銀行本店)

SAIKYO 本日のテーマ

1. 地域密着型金融とは何か
—西京銀行の取組みを紹介
2. 地域の金融機関には何ができるのか～ダイアログ
—徳山大学との協働



(写真3) 筆者3 (田村) による事前授業講義用資料(1)

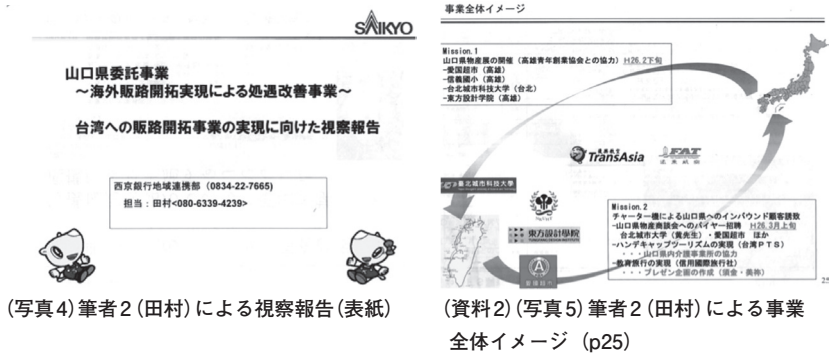
IV. 協働の全体イメージについて

西京銀行が山口県より「海外販路開拓実現による処遇改善事業」（以下、「海外販路開拓事業」と略す）を受託したことを受けて、本研究を実施するにあたりプロセスで合計16か所に対し、山口県の台湾市場開拓を図るためのトップセールス活動を展開した。その需要全体を喚起する事業全体イメージを筆者2（田村）が「山口県委託事業～海外販路開拓実現による処遇改善事業～台湾への販路開拓事業の実現に向けた視察報告」としてまとめている¹¹。同報告は大学教員の立場では見出し得ない実務家の視点でまとめられたものであり、本協働の意義はまさにこうした成果に見出される。なお、同行が受託した「海外販路開拓事業」において筆者5（紙矢）は、アドバイザーをつとめた。写真4、5を参照されたい。インバウンドチャーター誘致のために、旅行会社3社に対する山口県送客を依頼すると同時に県産品の販路拡大をはかる取り組みも行った。

9 愛国関係企業は高雄市を拠点に11店舗のスーパーマーケット、流通センター、流通エクスプレス、コーヒーチェーンなどを運営する企業グループである。中華民国青年創業協会にぞくする高雄市の分会である。中華民国青年創業協会 <http://www.careernet.org.tw/>

10 徳山大学OSP(B)「西京銀行の挑戦!～地域密着型金融の取り組み～」(平成26年8/9月)

11 株式会社西京銀行地域連携部が作成した報告を参照されたい。徳山大学・西京銀行協働で実施したトップセールスミッションを筆者2（田村）が作成したものである。



(写真4)筆者2(田村)による視察報告(表紙)

(資料2)(写真5)筆者2(田村)による事業全体イメージ(p25)

この協働の旗印は写真5にある通り、岩国飛行場へのインバウンドチャーター誘致である。同行は岩国空港ビル株式会社に出資し役員も出している¹²。また周南市を中心とする県東部にとって、岩国飛行場(法令上名称は「岩国飛行場」であり、岩国錦帯橋空港は「通称」「愛称」である)の活性化と国際化は、利益を生むと考えられるものであり、台湾の遠東航空および復興航空の両者に岩国就航(チャーター形式または定期便)を要請するトップセールスアクションを本研究の中核とした。今回のOSP(B)は、このアクションを中核に表1の日程で実施された。この両社のアテンドは、筆者1(楊)によるものであり、遠東航空の岩国就航の表明にもつながった。この件については、平成26年10月30日に岩国商工会議所に受け入れの要請をするに至り、本研究は一定の目標を達成した¹³。

また、同行が前述の「海外販路開拓事業」を実施するにあたり、台湾での県産品の販路開拓のための展示会も開催することがニーズとして提起されたので、ただちに台北市北投区にある台北城市科技大学民生学院の黄招憲院長に依頼し、快諾いただいていたので、展示会開催のための打ち合わせを学生とともに行うことができた。

12 空港ターミナルビルは岩国空港ビル株式会社が運営している。岩国空港ビル株式会社 <http://www.iwakuniap-bld.jp/>

13 2014年10月30日に筆者2(田村)と筆者5(紙矢)が岩国商工会議所を訪問した。

V. 協働の実施

以下、実施内容については表2を参照されたい。

(表2) OSP (B)トップセールス実習日程表

月日	実施企業	訪問先	アテンド
9月7日(日)	OSP (B) 参加学生3名 関西国際空港から台北市に到着		
9月8日(月)	西京銀行地域連携部主任調査役 関西国際空港から台北市に到着		
16:00	台北城市科技大学	黄招憲院長	紙矢健治
9月9日(火)	台北市 夕方台湾高速鉄路で高雄市へ移動		
10:00	三普旅行社 三賢旅行社		林孟翰氏 (徳山大学卒業生)
13:30	美祿市台北事務所		田村健児
14:00	遠東航空本社	黄宋丞総経理(社長)	楊政權
15:30	復興航空本社		
9月10日(水)	高雄市		
08:30	国立高雄餐旅大学	王珍妮教授、楊政權教授	紙矢健治
14:00	PTS台湾公共テレビ	周傳久先生	
17:00	高雄市青年創業協会	李岳道先生	紙矢健治
19:00		游済民理事長	李岳道
9月11日(木)	高雄市		
11:00	東方設計学院	李福登董事長	紙矢健治
14:00	イザヤ企業	李文財負責人	李岳道
15:00	愛国関係企業	李進來董事長	
16:30	台茶国際企業公司	游済民総経理	
9月12日(金)	高雄市		
11:00	高雄市信義国民小学	張基成校長	紙矢健治
14:00	信用国際旅行社	陳慧彬経理	
16:00	台湾横河(股)	内山秀俊維護本部協理	
18:30	統一夢時代	※参観	
9月13日(土)	14:05 OSP(B)参加学生および田村氏関西国際空港経由で帰国		

トップセールスの訪問先は全部で16か所におよんだ。実施する過程において、「海外販路開拓事業」のための台北城市科技大学での展示会実施を最優先として、同大学を訪問し、直接開催を依頼、筆者2（田村）により同行で展示会が企画され、2015年3月3-4日の両日、台北城市科技大学で展示会と山口県産食材を使用した料理コンテストなど一連のイベントが実施された¹⁴。また同行と台北城市科技大学は連携協定も締結した¹⁵。写真6は出発に先立ち株式会社西京銀行平岡英雄頭取、金丸眞明専務の表敬訪問の様子。写真7は参加学生の台北桃園国際空港到着の様子である。



（写真6）西京銀行平岡英雄頭取（前列右2）（写真7）参加学生3名、台北桃園国際空港到着記念撮影

V-1. 台北城市科技大学

台北城市科技大学は全学約12,000人の学生数である。民生学院は観光領域の学科を核として約3,000人の学生を擁する¹⁶。筆者2（田村）と協議し、7月2日に筆者5（紙矢）が直接、院長である黄招憲教授に依頼し、翌3日に快諾を得た。ただ、2月中旬と設定していた日時については、春節（旧正月）が同時期であるので、同大学としては1月10日（土）までには実施を完了させるか、3月にすることが望ましいと伝えられた。（写真8から11までを参照されたい）

14 詳細が山口新聞（3月4日）紙面に紹介されているので参照されたい。http://www.minato-yamaguchi.co.jp/yama/news/digest/2015/0304/4p.html

15 西京銀行・台北城市科技大学協定についてhttp://www.saikyobank.co.jp/personal/information/2015/03/post-694.html

16 台北城市科技大学http://www.tpcu.edu.tw/bin/home.php



(写真8) 台北城市科技大学訪問(2014年9月8日)
中央が同大学民生学院院长黄招惠教授



(写真9) 台北城市科技大学黄招惠院長(左1)
事務室前にて(右1は筆者2)



(写真10) 会場を下見する学生



(写真11) 台北城市科技大学キャンパス

V-2. 台湾横河股份有限公司

世界的なソリューション企業の横河電機の台湾法人「台湾横河股份有限公司」において、9月12日(金)15:30から維護本部(技術部門)の責任者である内山秀俊協理に授業をお願いした¹⁷。(写真12、13を参照されたい)



(写真12) 台湾横河 内山秀俊協理による授業(その1)



(写真13) 同授業(その2)

VI. 成果について

前述の通り、遠東航空の岩国就航に向けて2014年10月30日に岩国商工会議所を訪問し、就航に向けての情報交換を行った。山口県と台湾の人的交流や経済交流を通じて、岩国飛行場をゲートウェイとして人の往来が活発にできることを提案した。また西京銀行・台北城市科技大学は連携協定を結び、今後協力を通じ山口県と台湾の交流を多面的に進めることになり、そのイベントに先立ち、今回の協働に協力して下さった台湾横河(股)の内山秀俊協理を招き、2014年12月12日午後、西京銀行主催によるセミナーを徳山大学においてを実施した¹⁸。(写真12、13を参照されたい)



(写真12)台湾横河(股)内山秀俊協理による講演 (写真13) 同講演 (その2)
(その1)

筆者らは今後、筆者3(周)を中心に、新たな福祉ツーリズムであるハンディキャップツーリズム(バリアフリーツアー)を開発することを目指し、高齢者や心身障害(児)者に能力開発やりハビリテーションに大いに役立つものを目指す。2015年3月3日—4日の2日間にわたって開催された。台北城市科技大学での展示会の模様については、写真14から20を参照されたい。



(写真14)台北城市科技大学と西京銀行の提携 (写真15)マスコミの取材を受ける西京銀行
協定締結式典(左、鄭逢時董、右、西京銀行平岡頭取) 平岡頭取(右、台北城市科技大学 黄招憲院長)



(写真16) 西京銀行・台北城市科技大学主催、徳山大学共催イベント(2014年3月3-4日)



(写真17) 山口県食材料理コンテスト



(写真18) 同コンテスト(その2)



(写真19) 同コンテスト審査



(写真20) 西京銀行平岡頭取(右)による表彰

17 横河電機 <http://www.yokogawa.co.jp/>

18 西京銀行 <http://www.saikyobank.co.jp/personal/information/docs/20141117.pdf>

まとめにかえて

インバウンドチャーター誘致を中核とする研究であったが、チャーター誘致に加えて「海外販路開拓事業」のための展示会に結びつけることができた。すでに8年目となる徳山大学・西京銀行の連携協定に基づく協働は、すでに8年目となり、他の事業に加えて本研究でも一定の成果を出せたことをうれしく思う。山口県と台湾の交流のための協働は2015年度も引き続き「OSP(B) 2015台湾」において実施する予定である。地域の課題解決型授業は、協働により、本学教員のシーズを「ニーズ即応型コーディネーター」としてさらに機動的に役立てたいと思う。筆者ら5人が、それぞれ持つ「餅屋」としての資源を持ち寄り、応用することによって本研究において成果を出せたのである。この成果を本研究ノートに掲載し、われわれの取り組みを広く知っていただきたいと願う。

本研究助成申請者（紙矢）よりの謝辞

株式会社西京銀行の、徳山大学との連携に対する熱意、ご厚意に心から御礼申し上げたい。そして著者の一人である田村健児氏の情熱に心から敬意を表したい。本研究のテーマにそって、地域ニーズを丁寧に結びつけることができたのは田村氏のアイデアと行動力によるものである。そして何より台北城市科技大学において山口県食材展示会、山口県食材料理コンテストが開催されたことは、申請者の長年の恩人で1997年2月から2010年9月まで職場でともに仕事をしてきた同大学民生学院院長の黄招憲教授のご厚意によるものである。本協働は契約云々によるものではなく、長い時間をかけて醸成された人と人の絆の成果なのである。長年の同僚である楊政樺主任、長年の「兄弟」である周傳久先生、香港珠海学院の学弟の李岳道先生との絆をこれからも大切にし、山口県と台湾との交流の絆として大いに強めていきたいと思う。

関連ホームページ

遠東航空公司	https://www.fat.com.tw/
国立高雄餐旅大学	http://www.nkuht.edu.tw/
台北城市科技大学	http://www.tpcu.edu.tw/
PTS台湾公共電視	http://www.pts.org.tw/
TBS台湾公共廣播電視集團	http://www.tbs.org.tw/
愛国関係企業（高雄市）	http://www.aigo.tw/
高雄市青年創業協會	http://kcyca.org.tw/
台湾横河股份有限公司	http://www.yokogawa.com/tw/
以塞亞企業有限公司	http://台灣之光.tw/
高雄市立信義国民小学	http://www.syps.kh.edu.tw/

著 者

- 楊政權（国立高雄餐旅大学運輸暨休閒服務規劃学位学程（大学院）主任）
田村健児（西京銀行小倉支店長）
周傳久（PTS台湾公共電視記者、国立高雄師範大学教育学博士、兼任助理教授）
李岳道（社団法人高雄市青年創業協會理事）
紙矢健治（徳山大学経済学部教授）